

## 第5回地域連絡会ダイジェスト

### 第5回地域連絡会を開催しました。

両国地域 A～D エリアを横断して情報交換を図る地域連絡会が開催されました。第5回地域連絡会では、東京マラソンで訪れる方々に地域資源を発信するエリアマップについて、またこれまでの取組と今後の進め方について、共有と意見交換を行いました。

#### 開催概要

日時：平成29年2月8日（水）18時30分から20時  
場所：国際ファッションセンター  
出席者：千歳連合町会、亀沢連合町会、立川菊川まちづくり研究会、両国料理飲食業組合、東部硝子工業会、東京都慰霊協会、JR 東日本千葉支社、都営大江戸線 江戸東京博物館 計12名  
アドバイザー：大下先生（帝京大学経済学部観光経営学科長・教授）  
事務局：墨田区都市計画課、観光課 計7名

#### 参加者からのご意見

##### エリアマップについて

- ・地域の方々の意見が反映されていてとてもよいマップができたのではないかと。
- ・よいマップができた。このような回遊のしかけが大事だと思う。
- ・4つのエリアマップをセットで活用したい。公園などにたくさん置いておきたい。
- ・江川太郎左衛門、ジョン万次郎など地域にゆかりのある人物を掲載してもらってうれしい。
- ・飲食店の掲載基準をはっきりさせた方がよい。  
→これまでのエリア懇談会で出た意見に基づいている。

##### 東京マラソンについて

- ・東京マラソンでは、沿道で小旗を撒いたり、四十七士のはっぴを着てのぼりを持つなどして盛り上げる予定だ。
- ・マラソンコース沿道で、通りを挟んだ町会とも連携して盛り上げていきたい。

##### 地域情報の共有について

- ・北斎美術館開館後の客層の変化が気になっている。
- ・江島杉山神社では、年末カウントダウンの除夜祭を開いていて、500人を超える来訪者がある。
- ・かつて大横川沿いには、20を超えるガラス工場があった。現在は2社となっている。
- ・すみだガラス市は今年で25周年を迎えた。今では、遠方からのお客様も増え、とても賑わっている。

## 今後の取組について

- ・ 江島杉山神社や吉良邸跡だったら江戸のまちのツアー、芥川龍之介だったら文学ツアー、北斎だったら芸術ツアー等、テーマをつくとよいのではないか。協力してアクションを起こしていきたい。
- ・ テレビは、影響力が大きい。歩く系の番組に出したり、アニメの聖地などとしてしかけてはどうか。
- ・ グランドデザインの地域展開の大きな目標、方向性を示してほしい。
- ・ 今年から地域主導となっているが、地域の取組の窓口、相談相手をつくってほしい。

## 大下先生からのアドバイス

### エリアマップについて

- ・ 吹き出しなどで、地域の生の情報が書かれていることが新しい。
- ・ 下町情緒がないと言われるが、それほど江戸時代と町割りが変わっていない。エリアマップの古地図との対比で一目でわかるのがよい。

### 今後の取組に向けて ～賑わいを生み出す～

- ・ ハード事業については、現在の進捗、今後の見通しについても情報提供していくべきだ。
- ・ 「粹に愉しむ」ことが大事。訪れた方が粹だと思ってもらえるとよい。
- ・ 賑わいを生み出すためのしかけのひとつである北斎美術館が開館した。今後、東京オリンピック・パラリンピックに向けて、どう賑わいをつくっていくかが大事。東京オリンピック・パラリンピックがあることをうまく活用していくとよい。

### 地域主導の観光まちづくりについて

- ・ 今、ちょうど両国観光まちづくりの折り返しの地点にいる。原点に戻りながら考えていきたい。
- ・ 行政ではできない私的な小さな「点景」づくり。下町らしさを感じさせるものとは何か。下町の風情をどうつくりあげて、賑わいを生み出し、回遊性を高めていくか、試行していくとよい。
- ・ どんなイメージがよいかなどの発想やアイデアは地域のみなさんの役割、かたちにするのが行政の役割、それをコーディネートするのが観光協会の役割である。